

近くて頼りになる病院を目指しています



年未年始など長期に病院が休みになる場合や、最近では新たな感染症や地震・大雪など自然災害も多く、病院にすぐかかれない場合もあります。
普段のんでいる薬は余裕を持って常備するようにしましょう！！



寒さも厳しくなりましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか。

2023年も地域の皆様の健康をサポートするために、安心して受診できる病院をめざしています。健康に不安を感じたら、ご来院ください。2023年も平和病院をどうぞ宜しくお願い致します。

新型コロナとインフルエンザの同時流行に備えて



新型コロナ検査キットを常備しましょう

抗原検査キットは

外箱に「体外診断用医薬品」「第1類医薬品」と書かれたものを使用しましょう

【注意】「研究用」ではご自分で登録する「陽性者登録窓口」に登録することができません

その他、常備しておくよいもの

市販の解熱鎮痛薬

常用している薬
日持ちする食料(5~7日分)
体温計 など



抗原検査キットで**陽性**が判明した時は…

- (1)65歳以上
 - (2)妊婦
 - (3)小学生以下のお子さま
 - (4)基礎疾患等の重症化リスク(*)がある方
- *重症化リスクについては特設サイトをご覧ください

当てはまる方

医療機関を受診
当院受診の際は発熱外来の
予約をお願いします

当てはまらない方

ご自分で陽性者登録ができます
「陽性者登録」で検索！

特定健診・横浜市検診・がん検診が予約なしで受けられます



特定健康診査
横浜市健康診査
大腸がん検診
肺がん検診
前立腺がん検診
肝炎ウイルス検診
↓
内科 (月～土)

乳がん検診
↓
乳腺外科
(月～金の午前と
月・水の午後)

子宮がん検診
↓
婦人科
(金曜午前のみ)

- * 特定健康診査は受診券が当日必要です
- * 胃がん検診は必ず予約が必要です
- * 健診・検診の対象者については詳しくはホームページ等でご確認ください
- * 大腸がん検診は後日便を持参して頂く必要があります

「もしも手帳」をご存じですか？



「もしも手帳」とは・・・

“もしも”のことを考えてみるのは大切な事です。

時には治らない「病気」や認知症などになり、自分で物事を伝えられなくなってしまう事があります。この手帳はそうなったときの治療やケアについてあなたが「どうして欲しいか」の気持ちを伝えるためのお手伝いをします。元気なうちから“もしも”の時のことを考えてみませんか？



① “もしも” 治らない病気などになり、自分の気持ちを伝えられなくなったら、どんな治療やケアを受けて過ごしたいですか？

- できるだけ長く生きるための治療を受けたい
- 痛みやつらさを軽減する治療やケアのみしてほしい
- すべての治療やケアを受けたくない
- わからない
- その他

② “もしも” 治療やケアについて、自分で決められなくなったら、代わりに誰に話し合ってもらいたいですか？ (複数可)

- 配偶者 (夫・妻)
- 子ども・孫
- きょうだい
- 親戚 (姪・甥など)
- 友人・知人
- かかりつけ医
- その他
- 頼める人はいない

※ [] 内には名前や連絡先を書いてみてください。

③ “もしも” 治らない病気などになったら、どこで過ごしたいですか？ (複数可)

- 自宅
- 病院
- 施設
- 今はわからない
- その他、自由に

氏名 _____

書いた日 _____ 年 月 日

話し合った日 _____ 年 月 日

話し合った人 _____

* 横浜市内の地域ケアプラザ(地域包括支援センター)、区役所(高齢・障害支援課)、在宅医療連携拠点、一部の薬局や診療所などの医療機関で配布しています当院では外来2階待合にあります。是非一度手に取ってご覧ください。



患者様にとって、いつも優しく、誠実であること
医療法人 平和会 平和病院



045-581-2211
045-581-7651

